

ンファレンスにより A 氏の気持ちについて情報提供し、チームで情報を共有するとともに環境調整を行った。その後 A 氏は安心して睡眠がとれるようになり、それを機に A 氏との関係性は変化し A 氏よりのニーズも表出されるようになった。亡くなる前日に「ありがとう」という言葉が聞かれた。A 氏の苦痛を理解しようと努めチームで関わり、A 氏が自分の苦痛を理解してもらえた実感できたこと、それらにより A 氏の苦痛は緩和され亡くなる直前に感謝の言葉として現れたと考える。そして、A 氏との関係性のなかで相互作用を及ぼしながらケアを提供すると同時に A 氏からケアを与えられている存在となっていることに気付いた。A 氏の亡くなる直前の笑顔は患者をひとりの人間として見ていく大切さを教えてくれた。

7. 終末期がん患者の辛い気持ちに寄り添う看護

一 日常生活の援助で学んだこと一

小倉 秀代（群馬大医・附属病院・看護部）

終末期を迎えたがん患者は、疾患の進行に伴い全身状態の悪化が生じ、日常生活の低下を余儀なくされる。私達看護師は、今まで患者が生きてきた生活を少しでも維持できるように患者の希望を聴き、環境を整えるなどの日常生活を支えるケアを担う役割がある。今回右肺腫瘍 70 歳代女性を受け持ち、身体的側面、精神的側面、社会的側面、スピリチュアルの 4 つ側面から患者を捉えて日常生活の援助をした。病状の進行に伴い、自分で起きることも立つこともできなくなった患者は「こんなことなら死んでしまいたい。」と話された。患者の気持ちを傾聴し辛い気持ちを受け止め共有し、患者に希望を聴いてトイレ歩行を介助したり、ベッドサイドにポータブルトイレを置いたりして患者の希望に添えるようにした。食事は摂取できなくなったがお茶は飲んでいた。時々むせていたためお茶にとろみをつけた。患者は飲むタイミングをつかみ飲む量が増え、おいしくお茶を飲むことができた。患者は「元気になってお礼がしたい。」と話された。患者に食事を勧めると食事を希望し介助で 1 時間かけて食事を全量摂取できた。

この症例を通して看護師は患者の思いに寄り添い患者の気持ちを聴き逃さずに対応すること、患者の気持ちを尊重して受け入れていき患者の希望に添えるように看護していくことが大切であることを学ぶことができた。

《示説》

1. がんサロンにおけるピアサポーター活用の効果

角田 明美、富田千恵子、大川 友子

（群馬大医・附属病院・看護部）

群馬県がんピアサポーター派遣事業が平成 25 年 9 月より開始となった。この事業は、がん患者・家族等に対して、がんを体験した人やその家族を「ピア（仲間）サポーター」として派遣し、傾聴を主とする共感的支援を提供することで、がん患者・家族等の抱える不安や辛さを和らげ、療養生活の質が向上することを目的としている。群馬大学医学部附属病院（以下、当院）では、平成 25 年 9 月よりがん患者・家族のためのサロンである「なごみサロン」での受け入れを開始した。主な役割はサロンでの司会・進行やファシリテーターであり、がんピアサポーターとサロン担当で試行錯誤しながら共に成長していくことを意図し、安心して役割を担えるように開始前の打ち合わせと終了後の反省会を兼ねた振り返りを行い、活動をサポートしている。当院ではこれまで計 6 回の受け入れを行ってきたが、がんピアサポーター自身が新たに役割意識を持つことで、傾聴や共感を行いながら他者に助言するという役割を、自信を持って全うしており、改めてがん患者・家族の力を見いだす場となっている。がんピアサポーターを活用することで、がん体験者の話が聞きたい、気持ちを分かち合いたいという参加者のニーズにも十分応える形となっており、サロンに一体感が生まれ、成熟に繋がっているのもその効果をここに報告する。

2. 県内のがんサロン活動事例を共有しよう

一群馬県済生会前橋病院の場合一

関根奈光子、須田 光明、高橋 俊成

松浦 雅人、望月 裕子

（群馬県済生会前橋病院）

【はじめに】 昨年当院に『がんサロン』を開設した。がん患者や家族同士が病気のこと・病気以外のことを気軽に語り合える場として利用されている。半年が経過した現在、活動上の課題も見えてきた。本発表では、当院のがんサロン活動について紹介する。県内のがん看護を考える場にてがんサロンの活動事例を共有することが、当院のがんサロン活動の助けとなるだけでなく、類似した課題に直面しながら活動が続いている県内他施設のがんサロン活動の参考になれば幸いである。【当院がんサロンの活動内容と課題】 [日時] 偶数月第 3 金曜日 15 時～16 時 [参加者] 当院に通院・入院中のがん患者・家族 [進行役] 院内サロンかつ開設間もないため、現時点での進行役は医療者が務めている [内容] 参加者同士のフ